

第6次柴田町総合計画 後期基本計画

令和5年度～令和8年度

(概要版)



笑顔があふれ



誇りと愛着を育む



花のまち



宮城県 柴田町

第6次柴田町総合計画 後期基本計画を策定しました。

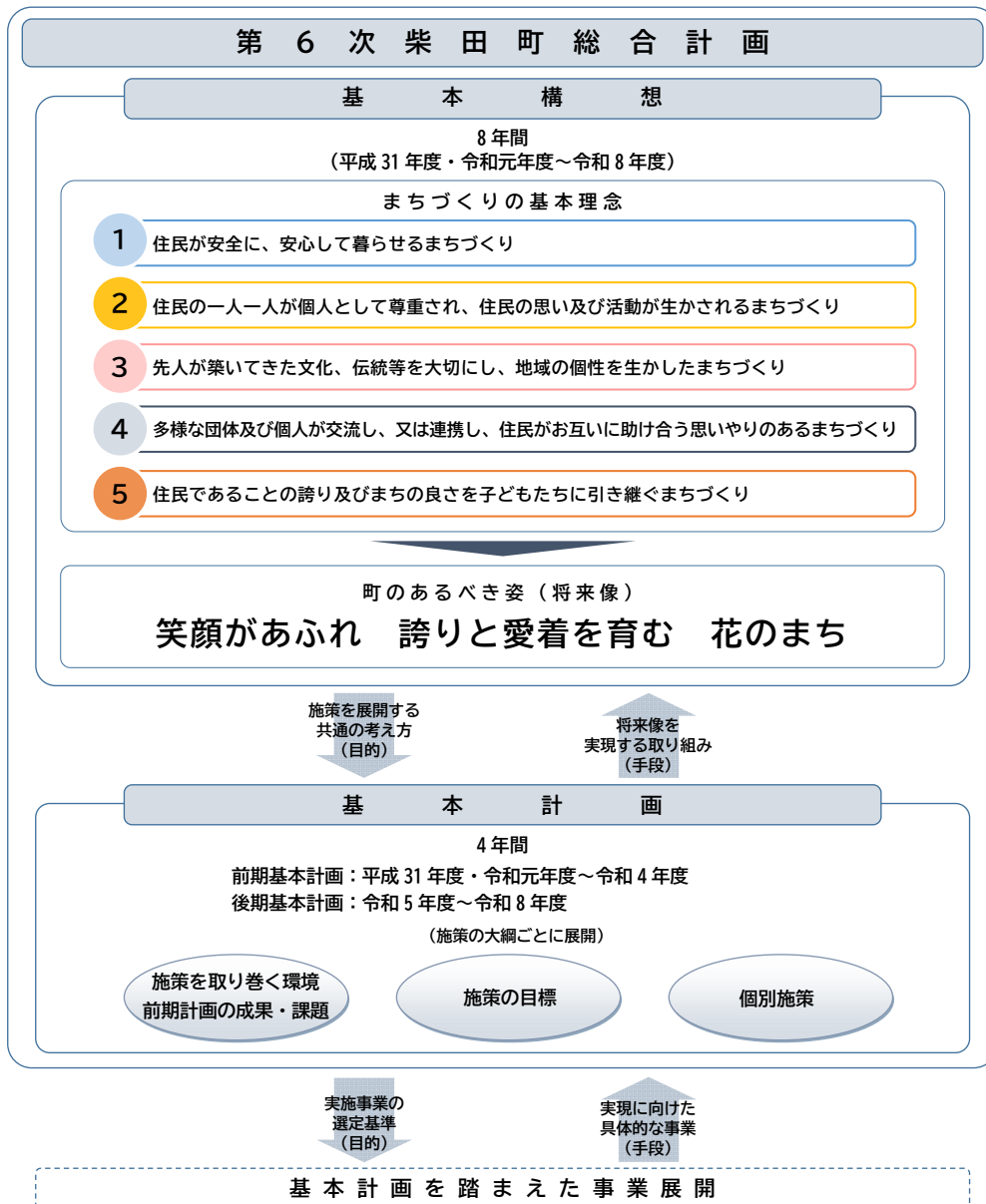
近年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による新しい生活様式への転換や働き方の改革、さらにデジタル技術の進展や先端技術の開発によって、社会が大きく変わろうとしています。

世の中が混沌とし、先行きが不透明な時代となっている中で、まちづくりを担う多くの方々とともに、柴田町の未来を切り拓いていくために「第6次柴田町総合計画 後期基本計画」を策定しました。

◎ 計画の目標年次と計画の構成について

第6次柴田町総合計画は、一定期間変わることのない基本的なまちづくりの方向性を示すものとして「まちづくりの基本理念」と「町のあるべき姿（将来像）」を定め、8年間の「基本構想」としてまとめます。

また、「基本計画」では、時代の変化や町民のニーズに対応し、柔軟な見直しができるよう、その期間を4年間とし、施策ごとに「施策を取り巻く環境」、「施策の目標」、「個別施策」、「数値目標」を示します。



柴田町の目指す未来と基本目標について

将来像

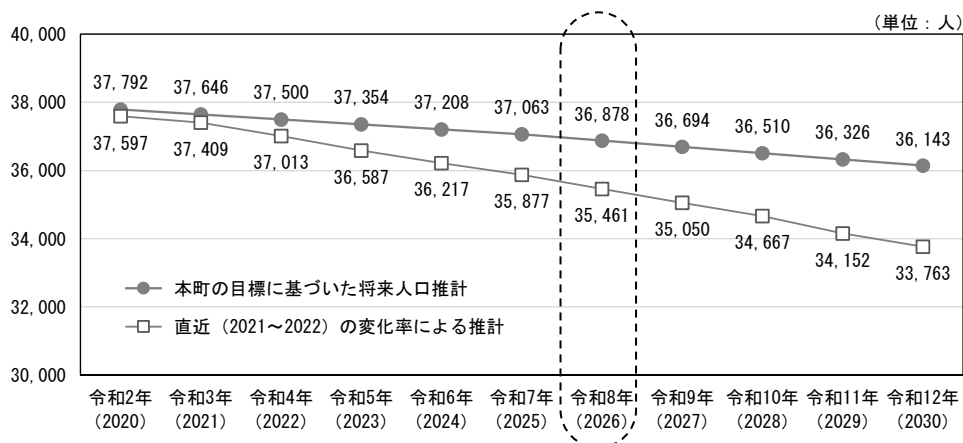
笑顔があふれ 誇りと愛着を育む花のまち

「基本構想（平成31年度・令和元年度～令和8年度）」では、将来像を「笑顔があふれ 誇りと愛着を育む 花のまち」とし、柴田町に暮らす誰もが、四季折々の景観が美しい「緑豊かなガーデンシティを創造」し、暮らしの豊かさや安心、幸せを実感できるまちにします。そのためにも、暮らす人、働く人、訪れる人が協力し合い、個性や能力を発揮しながら、一人一人が地域に愛着と誇りを持てるまちに育て、多くの人々がこれからも住み続けたい、住んでみたい、訪れてみたいと思われるまちづくりを推進します。

将来推計

住民基本台帳による令和4年9月末時点の総人口は37,013人となっており、直近（2021～2022）の推移状況をもとに行った推計と将来目標人口を比較すると、計画最終年目標値（36,800人）を1,300人程度下回る見込みであり、人口減少への取組がますます重要となります。

将来人口の目標値： 令和42年（2060年）の総人口30,083人
（計画最終年目標値） 令和8年（2026年）の総人口36,800人



SDGsによる取組

SDGs（Sustainable Development Goals）は、2015年の国連サミットで採択された2030年までの国際目標であり、国内においてもその達成に向けて、経済、社会、環境を巡る広範囲な課題に対する総合的な取組が進められています。

本計画においても、SDGsとの関連性がわかるように、対応するゴールを各施策に表記し、「誰一人取り残さない」という理念のもとにまちづくりを進めていくこととします。



基本目標

将来像「笑顔があふれ 誇りと愛着を育む 花のまち」に向けて、後期基本計画では、次の5つの基本目標に沿って施策を展開します。

基本目標 1

歩いて楽しい緑豊かな クリエイティブタウンの創造

～四季折々の景観が美しい心いやされる
文化の香り高いまち～

柴田町の未来の都市構造をコンパクト・プラス・ネットワーク型とし、四季折々の花が咲く緑豊かな空間の中で、多様な人々との交流を育む、歩いて楽しいクリエイティブタウンを創造します。

また、農村、里山の風景を保全、活用するとともに、豊かな自然環境を次代へ継承する取組を通じて、脱炭素社会へ向かうまちづくりを推進します。

基本目標 2

安全で安心な 居ごこちの良いまちづくり

～誰もが安心して暮らせる
住みよいまち～

生活の利便性を高める都市機能を強化するとともに、災害リスクの少ない都市の形成を図ります。

また、健康づくりや地域包括ケアシステムの深化など、保健・医療・福祉による支援体制を整え、住み慣れた地域で誰もが安全で安心して暮らせる居ごこちの良いまちづくりを推進します。

(将来像)

笑顔があふれ 誇りと愛着を育む 花のまち



基本目標 3

まちづくりを担う人材の育成と 子どもたちの成長支援

～一人一人の夢や希望を拓く
創造性豊かなまち～

生活の利便性を高める都市機能を強化するとともに、災害リスクの少ない都市の形成を図ります。

また、健康づくりや地域包括ケアシステムの深化など、保健・医療・福祉による支援体制を整え、住み慣れた地域で誰もが安全で安心して暮らせる居ごこちの良いまちづくりを推進します。

基本目標 4

花のまち柴田のブランド化による 稼ぐ力の醸成

～「花のまち柴田」を通じた
賑わいのあるまち～

花のまち柴田のブランド力を最大限発揮できるよう、町民と協働による情報発信、シティプロモーションを通じて発信力を高め、ウイズコロナ、アフターコロナを見据えた新たな観光戦略、訪日外国人観光客の受け入れに取り組みます。

また、コロナ禍からの経済回復を図る農林業や中小企業等の地域産業の振興、地域の資源を活用した仕事おこしへの支援を通じて、稼ぐ力を醸成します。

基本目標 5

デジタル化による 自治体イノベーションの推進

～みんなが主体的に活動する
協働のまち～

デジタル社会に取り残されないよう、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」に基づき、誰もが便利で快適に暮らせる社会の実現を目指すとともに、町民との協働、自治体間での連携、官民連携による共創のまちづくりを進め、町民の利便性の向上や行政運営の効率化につなげます。

また、公共施設マネジメントを継続し、公共施設の適正な配置によって、効果的かつ効率的な行財政運営や、持続可能な地域づくりを推進します。

後期基本計画の施策体系・基本目標ごとの取組について

後期基本計画では、次のように5つの基本目標と28の施策で構成されています。



基本目標1 歩いて楽しい緑豊かなクリエイティブタウンの創造

～四季折々の景観が美しい心いやされる文化の香り高いまち～

1-1 コンパクト・プラス・ネットワーク型の都市整備

- ◎ 「柴田町都市計画マスタープラン・立地適正化計画」に基づき、コンパクト・プラス・ネットワーク型の都市整備により、町民の生活利便性を向上させます。
- ◎ 町道富沢16号線の道路改良は、地域住民の要望を反映しながら、生活道路を整備し、令和6年3月の完成を目指します。
- ◎ 柴田町総合体育館の整備は、令和6年12月の供用開始を目指します。太陽の村は、アウトドア活動のスポットとして利用者数を増やし、都市と農村との交流を広げます。

[SDGsによる目標]



1-2 安全で快適な生活空間の整備

- ◎ 町営住宅の※ライフサイクルコストの縮減や、老朽化した上下水道施設の改修や適正管理を計画的に行うなど、居ごちの良好な環境や生活利便性が高く、災害リスクの少ない、安全で快適な生活空間の整備を推進します。

[SDGsによる目標]



※ライフサイクルコスト：建物が建設された時点から除却されるまでに要する建設、改善、修繕、除却に要するコストの総和のこと。

1-3 歩きたくなるガーデンシティの創造

- ◎ 花や緑に囲まれた景観を形成し、公園や緑地の整備を進めて、歩きたくなる街づくりを目指し、町民や観光客が訪れる場所をつくりまします。
- ◎ フットパスの魅力を広く周知するため、街中を巡るスタンプラリーなどのイベントについて検討し、町内外からの新たな参加者を増やすなど、知名度の向上につなげます。



[SDGsによる目標]



1-4 SDGs未来都市への挑戦

- ◎ 国の示す2050年の※カーボンニュートラルを達成するために、省エネルギーや自然エネルギーの活用、森林保護などの取組を強化します。
- ◎ 持続可能な循環型社会を目指すために、町民自らがごみの分別や減量化、再資源化を行い、ごみの発生を抑制する※4R活動を推進し、町民と行政が協力して環境負荷を低減していきます。



[SDGsによる目標]



※カーボンニュートラル：排出される二酸化炭素などの温室効果ガスを植林や森林管理によって吸収・除去し、排出量をプラスマイナスでゼロにしようという考え方。

※4R：循環型社会を構築するために廃棄物処理やリサイクルの優先順位として、これまでの3R（「リデュース（Reduce＝ごみの発生抑制）」、「リユース（Reuse＝再使用）」、「リサイクル（Recycle＝再資源化）」に「リフューズ（Refuse＝ごみになるものを買わない）」をプラスしたもの。

1-5 自然と人が共生できる環境の創造

- ◎ 自然環境を保護し、美しい里山の景観を次の世代に受け継ぐため、環境保全意識の高揚を図り、自然保護活動や美化活動を推進しています。また、地域や関係団体と協力し、不法投棄防止や水質改善に取り組みます。
- ◎ 野生鳥獣と人との軋轢に備え、対策を緩めることなく継続していきます。



[SDGsによる目標]



基本目標2 安全で安心な居ごこちの良いまちづくり

～誰もが安心して暮らせる住みよいまち～

2-1 地域防災・減災力の向上

- ◎ 近年頻発する自然災害等の発生に備えて、中小河川の改修や道路側溝の補修、さらに簡易型水位計やカメラの設置を要望するなど、防災・減災のまちづくりに取り組みます。
- ◎ 町民の防災意識の高揚を図り、自主防災組織の育成強化や地域での助け合い、消防団や民生委員、児童委員等との連携・協力体制等、安全安心の確保や災害弱者への対応を強化します。

[SDGs による目標]



2-2 交通安全・防犯対策の推進

- ◎ 町民が交通安全に対して高い意識を持つことができるよう、関係機関と協力しながら交通ルール遵守の大切さを学ぶ機会を増やすほか、交通危険箇所の改善や交通安全施設の整備に取り組みます。
- ◎ 地域や関係機関と連携した防犯体制を強化するとともに、特殊詐欺や消費者トラブルを防ぐために消費生活相談体制や情報提供を充実させます。



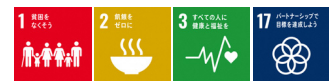
[SDGs による目標]



2-3 健康・体力づくりの推進

- ◎ 町民一人一人が健康寿命を長く保つために、生活習慣病予防を軸とする保健指導や健康づくり活動の推進、心の健康に対するサポートの強化に取り組むほか、感染症対策に取り組み、町民の生命及び心身の健康を守ります。
- ◎ 母子保健においては、保護者や子どもの成長・発達に応じた助言を提供し、安心して健やかに成長できる環境整備を進めます。
- ◎ 地域医療においては、※かかりつけ医を持つ町民を増やすとともに、みやぎ県南中核病院、地域とともに、休日や夜間も適切な医療を受けられる医療提供体制を確保します。

[SDGs による目標]



※かかりつけ医：健康に関することを何でも相談でき、必要なときは専門の医療機関を紹介してくれる身近にいて頼りになる医師のこと。

2-4 地域包括ケアシステムの構築と深化

- ◎ 人口減少や地域コミュニティカの低下により、従来の支援体制では解決できない複雑化・複合化した課題に対応できるよう、地域共生社会の実現に向けて包括的な支援体制の構築に努めます。
- ◎ 誰もが住み慣れた地域で生きがいを持ちながら安心して暮らすことができるよう、高齢者の介護予防、地域包括ケアシステムの構築、障がい者の経済的自立、日中活動の充実、早期療育など、高齢者、障がい者、児童の各分野において支援体制の充実に取り組みます。
- ◎ 特に障がいのある子どもに対しては、切れ目のない支援を図るとともに、発達障がいの早期発見と早期療育、医療的ケア児等への支援体制の充実を図ります。



[SDGs による目標]



2-5 地域コミュニティの再構築

- ◎ 中間支援機能を持つまちづくり推進センター「ゆるぶら」の機能を強化し、地域計画に基づく地域課題解決に向けた活動を引き続き支援することで、住民自治の強化や集落機能の維持に努めます。



[SDGs による目標]



2-6 地域公共交通の確保

- ◎ 町民の移動手段として、タクシーやデマンド型乗合タクシーを運行し、公共交通サービスの利便性と持続性の向上を目指します。
- ◎ 阿武隈急行線の利用者が減少しているため、沿線自治体と協力し、線の在り方や乗車の促進に関する取組について検討を進めます。

[SDGs による目標]



基本目標3 まちづくりを担う人材の育成と子どもたちの成長支援

～一人一人の夢や希望を拓く創造性豊かなまち～

3-1 移住・定住の促進

- ◎ シティプロモーションを通じて町の魅力を発信し、相談窓口を設置し、お試し移住・教育移住などの取組を通じて交流人口や関係人口を拡大することで、若者の移住や定住を目指します。
- ◎ 移住希望者を受け入れるために、移住支援コーディネーターの配置や空き家バンクの構築のための体制の整備、空き家の活用などを行い、居住環境の改善や仕事の創出に取り組みます。

[SDGs による目標]



3-2 子ども・子育て支援の充実

- ◎ 産前からの切れ目のない子育て支援を強化・推進するとともに、仕事と生活の調和を実現するための環境整備や子育て応援アプリの使いやすさ、住環境や教育環境の充実、経済的な子育て支援の検討など、子育て世代に選ばれるまちづくりを推進します。
- ◎ 子どもたちが家庭や学校以外の場で大人や友だちと安心して過ごし、自立に向けて生き抜く力を育めるよう子どものための第三の居場所づくりに取り組みます。
- ◎ 幼児教育においては、保育所、幼稚園、小学校との連携を強化し、※小1プロブレムの解消につながる支援体制を充実させます。そのため、新たに「幼保小架け橋リーダー」を配置します。

[SDGs による目標]



※小1プロブレム：保育所や幼稚園を卒園した後に、子どもたちが小学校での生活や雰囲気になかなか馴染めず、小学校にあがったばかりの子どもたちの落ち着かなさが長く続いてしまう状態のこと。

3-3 学びを支える教育環境の充実

- ◎ 学校教育においては、安全で快適な教育施設の整備やデジタル化に対応した※GIGA スクール構想のさらなる推進を通じて、確かな学力の向上と児童生徒一人一人の個性と創造性を育む教育の実現を目指します。
- ◎ 学校関係者評価委員や地域住民、保護者、仙台大学との連携を強化しながら、地域とともに創る学校運営を実施し、教育活動の充実に努めます。

[SDGs による目標]



※GIGA スクール構想：教育現場で児童生徒各自がパソコンやタブレットといった ICT 端末を活用できるようにする取組のこと。
なお、「GIGA」は「Global and Innovation Gateway for All (全ての児童生徒の取組のことにつながる革新的な扉)」の略称。

3-4 子どもたちや青少年の成長支援

- ◎ 社会経済状況の変化や情報の氾濫により、青少年を取り巻く環境が悪化しているため、学校・家庭・地域が協力し、子どもたちや青少年の成長支援に取り組んでいる地域づくりを推進します。

[SDGs による目標]



3-5 ジェンダーギャップの解消

- ◎ 誰もが性別に関わりなく個性と能力を発揮し、活躍できる社会の実現に向けて、職場、家庭、地域、学校等を含めた町全体の※ジェンダーギャップの解消に取り組めます。



[SDGs による目標]



※ジェンダーギャップ：男女の違いにより生じる格差のこと。

3-6 生涯学習・スポーツ文化活動の推進

- ◎ 生涯学習においては、個人の※ライフステージに合わせた学びの機会を確保するために、図書館などの学習支援拠点の整備に加え、文化学習活動やサークル活動を支援する取り組みを推進します。
- ◎ スポーツ・レクリエーション活動については、今後も仙台大学との連携や柴田町総合型地域スポーツクラブの事業活動を通じ、身近で気軽にスポーツに親しむことができる環境を整備します。
- ◎ 町内の貴重な文化財の保護に努めるとともに、拠点となるしばたの郷土館を再整備し、郷土学習事業を通じて、町民が身近に郷土の自然、歴史、文化に触れ、参加できる環境づくりを進めます。
- ◎ 図書館では、今後もブックスタートや子どもたちの発達段階に応じた読書の楽しさを体験できる機会を提供し、図書活動や読書活動の充実を図ります。

[SDGs による目標]



※ライフステージ：人間の一生において節目となる出来事（出生、入学、卒業、就職、結婚、出産、子育て、退職等）によって区分される段階のこと。

基本目標4 花のまち柴田のブランド化による稼ぐ力の醸成

～「花のまち柴田」を通じた賑わいのあるまち～

4-1 シティプロモーションの推進

- ◎ 「花のまち柴田」を基軸とした効果的なシティプロモーションを展開し、知名度の向上や交流人口、定住人口の拡大を目指します。
- ◎ 体験型の返礼品を提供することを検討するなど、ふるさと納税の納税先として選んでもらえるような取組を強化します。また、ふるさと納税を通じた町外の企業や個人とのつながりを活かし、関係人口の拡大に取り組みます。

[SDGs による目標]



4-2 新観光まちづくり戦略の展開

- ◎ アウトドアでの観光や近場での自然や体験活動といった新型コロナウイルス感染拡大後の観光需要の変化に応え、観光施設、歩行空間の整備や、スポーツツーリズム、イルミネーションによるナイト観光の推進など、新たな価値やサービスを創出することで、国内外から人を呼び込み、交流の場や消費の機会を増やします。

[SDGs による目標]



4-3 インバウンド受入体制の再構築

- ◎ 訪日外国人旅行の受け入れが再開されたことを受け、茶道や和服など、日本の伝統文化に基づくコンテンツを提供することで、外国人旅行者の集客力を高め、「持続可能な観光」を推進します。
- ◎ 訪日外国人旅行（インバウンド）の受入にあたっては、多言語案内やICTを活用した観光情報発信するなど、多文化共生の視点からおもてなし体制の整備に努めます。

[SDGs による目標]



4-4 農業農村の新展開

- ◎ 生産基盤整備やICTを活用したスマート農業の導入等、時代に合った農業生産体制を構築します。
- ◎ 本町の特産作物「花き・鉢花」のブランド化による所得の安定を目指すとともに、宮城県や農業協同組合などと連携しながら、農業経営の法人化を推進します。また、鳥獣被害の軽減、農産物のブランド化と販路拡大に努めます。

[SDGs による目標]



4-5 地域資源を活用した仕事おこし

- ◎ 農村や里山が持つ豊かな地域資源を新たに利活用し、里山ビジネスの振興やスポーツツーリズムやサイクルツーリズム、グリーンツーリズムを通して、都市と農村との交流を促進します。
- ◎ 創業希望者、新規創業者向けの各種セミナーを開催するほか、商工会やしばたの未来株式会社等と連携し、ローカルビジネスの振興、新たな仕事おこしに向けた支援を行います。
- ◎ 6次産業化を推進するため、付加価値の高い農産物の生産や特色ある加工品の開発、技術やマーケティング力などのスキルを習得のための支援を行うとともに、地場産品直売所や電子商取引などを通じて販路の拡大に努めます。

[SDGs による目標]



4-6 中小企業の活性化による雇用の確保

- ◎ 商工会と連携を図りながら、引き続き経営基盤安定化のための融資制度など、資金面での支援を行うとともに、持続的な経営が可能となるよう積極的に支援します。
- ◎ 関係機関と連携を密に図りながら、引き続き企業誘致活動を展開し、多様な雇用機会の創出、地元産業の活性化を目指します。
- ◎ 町内はもとより、近隣市町の高等学校と企業とをつなぐ「企業情報ガイダンス」の開催等を通じて、若い世代の町内企業への就職を働きかけるほか、ハローワークや商工会、仙南地域職業訓練センター等と連携し、雇用や就労につながる支援を実施します。

[SDGs による目標]



基本目標5 デジタル化による自治体イノベーションの推進

～みんなが主体的に活動する協働のまち～

5-1 自治体DX戦略の推進

- ◎ 新型コロナウイルス感染症を契機に急速に進むデジタル化に対応するために、柴田町版デジタル田園都市国家構想を策定するとともに、行政運営においては、業務等の効率化やコスト削減を図ります。
- ◎ 町民一人一人のニーズに合った、利用しやすく便利な行政サービスの提供を目指し、効率化によって生まれた時間や人材を、人に関わる仕事に充てることで、よりきめ細やかなサービスの充実につなげます。

[SDGs による目標]



5-2 行政サービスのデジタル化

- ◎ 様々なヒト・モノ・コトをデジタル技術でつなげることで、暮らしの向上と自治体の業務のさらなる効率化を図り、行政サービスのイノベーションに努めます。
- ◎ デジタル技術を通じて観光地としての魅力を国内外に発信するとともに、街中巡りの際に、新しい情報を届けるサービスを提供していくことで、一度は行ってみたいと選ばれるまちづくりを目指します。

[SDGs による目標]



5-3 GIGAスクール構想の推進

- ◎ 国が推進する「GIGA スクール構想」に基づき、デジタル教材や動画などを効果的に活用することで、思考力、判断力、表現力を養います。
- ◎ 教育環境や教職員の ICT 指導スキルによる教育の質の向上を図り、次代を担う若者や子どもたちが、力強く生きる力を身に付け、また、その能力が発揮できるよう、学びと成長を支援します。

[SDGs による目標]



5-4 参加と協働連携による持続可能な行政運営

- ◎ 時代に合った協働の在り方を模索しながら、まちづくり推進センターを核として、地域におけるボランティアやNPO等の自主的なまちづくり活動を引き続き支援します。
- ◎ 地域の課題解決や事業の推進に向けて、*PPPによる最適な事業手法を検討し、官民連携による共創のまちづくりを推進します。
- ◎ 行政情報の公開を積極的に進めるほか、町民にわかりやすく、利用しやすい行政サービスの提供に努めます。

[SDGs による目標]



*PPP: Public Private Partnershipの略。公共施設等の建設、維持管理、運営等を行政と民間が連携して行うことにより、民間の創意工夫等を活用し、財政資金の効率的使用や行政の効率化等を図るものであり、指定管理者制度や包括的民間委託、PFI (Private Finance Initiative) 等、様々な方式がある。

5-5 行財政運営・公共施設マネジメントの推進

- ◎ 町民の目線で地域の様々な需要に応える組織体制を確立するとともに、持続可能な行財政運営が可能となるよう、事業の見直しや財源の確保等に努めます。
- ◎ 公共施設の利用状況や実態を把握し、中長期的な視点を持って、維持管理、更新、統廃合、長寿命化などを総合的かつ計画的に進めることで、財政負担の軽減や平準化を図り、町民ニーズに対応したサービスを持続的に提供します。

[SDGs による目標]



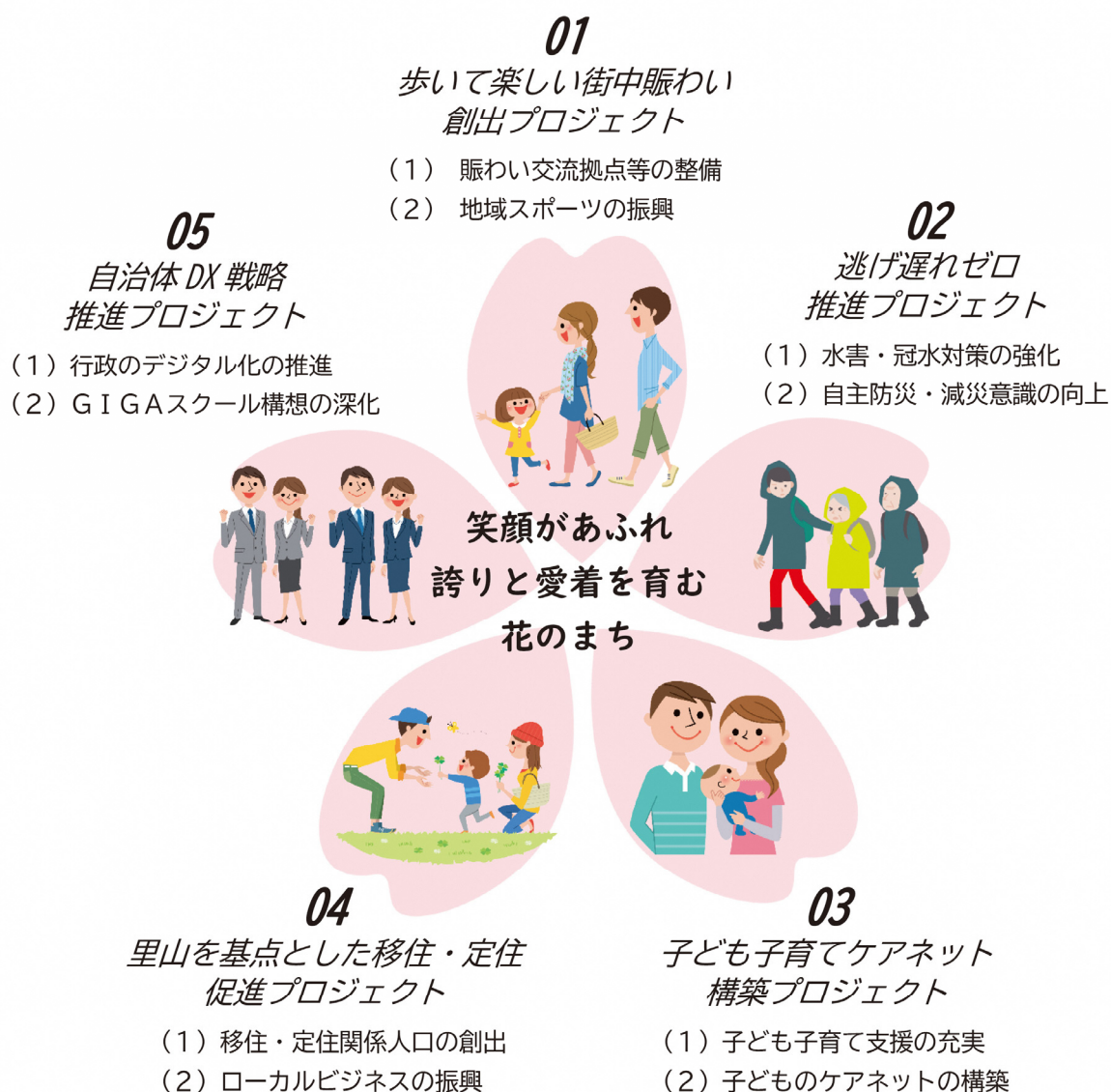
重点プロジェクトについて

基本構想に掲げた将来像「笑顔があふれ 誇りと愛着を育む 花のまち」の実現に向けて、特に重点的に取り組むべき施策を重点プロジェクトと位置付け、以下の5つのプロジェクトをアフターコロナ時代に対応する持続可能なまちづくりに向けて推進します。

特に後期基本計画期間においては、前期基本計画での取組を受け、歩いて楽しい街中の賑わい、災害リスクの少ない暮らしの安全安心、将来のまちづくりを担う子どもたちの健やかな成長、里山での移住・定住促進、新たなビジネスの創出等に取り組めます。

また、急速に進むデジタル社会へ対応すべく、自治体 DX に係る取組を重点的に推進します。

図：重点プロジェクト



令和5年(2023年)4月 発行 宮城県 柴田町 まちづくり政策課

〒989-1692 宮城県柴田郡柴田町船岡中央2丁目3-45

電話：0224-54-2111 F A X：0224-55-4172 町ホームページ：https://www.town.shibata.miyagi.jp/